



SPECIAL STEEL

July/2012

すてい〜る

目次

●特集 第16回定時総会

●「第16回定時総会」を開催	1
●支部だより	3
●平成23年度「特殊鋼販売加工技士(実務編)」資格認定式	5
●「はがねの日」記念行事	7
●青年部会「第12回定時総会」を開催	9
●新支部長訪問	
●名古屋支部 榎 巳芳 辰巳屋興業 取締役社長	11
●北関東支部 長谷川弘和 長谷川ハガネ 代表取締役	12
●被災地は今 鐵鋼社 東北営業所	13
●理事会・委員会報告	14
●事務局だより・編集後記	裏表紙

(社)全日本特殊鋼流通協会 第16回定時総会



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail info@zentokkyo.or.jp

「第16回定時総会」を開催



竹内会長以下、前期執行部を再任。定款変更、公益目的支出計画など一般社団法人への移行に伴う各議案を承認。

平成24年6月4日(月)、全特協は東京都千代田区の「パレスホテル東京」において、第16回定時総会を開催した。

正会員46社(委任状提出正会員数182社)の出席を得た会場では、以下の各議案が審議され、原案どおり満場一致で承認された。

第1号議案 平成23年度事業報告書(案)及び平成23年度収支決算書(案)並びに監査報告書の件

第2号議案 平成24年度事業計画書(案)及び平成24年度収支予算書(案)の件

第3号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う定款変更(案)の件

第4号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う公益目的支出計画(案)の件

第5号議案 役員一部選任・退任の件

第6号議案 新理事・新監事選任(案)の件

第7号議案 常勤理事の報酬(案)の件

役員人事では、桐山哲夫氏(山陽特殊製鋼・専務取締役東京支社長)、熊谷多津旺氏(クマガイ特殊鋼・代表取締役)、根来龍之氏(早稲田大学ビジネススクール教授)、増川光一氏(東部金属熱処理工業組合・事務局長)の4理事が退任され、

古瀬司氏(日本高周波鋼業・常務取締役)、鈴木健司氏(東部金属熱処理工業組合・事務局長)、富永真市氏(山陽特殊製鋼・常務取締役東京副支社長)、櫛巳芳氏(辰巳屋興業・取締役社長)の4名が新理事に選任された。

総会終了後は懇親会を開催。来賓の塩田康一氏(経済産業省製造産業局鉄鋼課長)が祝辞を寄せられ、再任された竹内誠二会長(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)以下、協会役員が今期



総会に先立ち、東日本大震災直後の事業年度であった昨年度、一部変更はあったものの滞りなく事業運営できたことを報告。会員への感謝の意を表した竹内会長。



今回理事を退任された熊谷多津旺氏には多年にわたる協会へのご尽力に敬意を表し感謝状を贈呈した。

協会事業について抱負を述べた(詳細次ページ)。

懇親会あいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 会長 竹内誠二



初心に帰り、謙虚な気持ちで出直したい

第16回定時総会で報告させていただいた一般社団法人化への移行認可申請については、当協会の喫緊の課題としてご承認をいただきましたので、今後、速やかに内閣府に申請する予定です。世阿弥の『花鑑』に『初心忘れるべからず』という言葉があります。その意味は、能楽師の観世栄夫氏の言を借りると「自分の未熟を自覚しなければ進歩どころか退歩してしまう」という、残酷で厳しい言葉です。原点に戻り、リセットするという安易なものではなく、厳しい修行の中から出た奥深い言葉です。本当の意味で初心に帰り、謙虚な気持ちで出直したいと思います。

おかげさまで、先日の特殊鋼販売加工技術実務編の認定式で新たに83名の有資格者が誕生しました。基礎編および実務編の本資格と特殊鋼販売技術士の有資格者を合わせると1万8518名を数えます。この人たちが特殊鋼流通の中核となり、リーダーとして活躍してくれることを期待しています。会員の退会や特殊鋼販売技術士の制度改革に伴う減収など、財務面は厳しい状況でご不便をおかけしますが、適切かつ有効な事業推進のためご協力をお願いします。



ご来賓あいさつ 経済産業省製造産業局鉄鋼課長 塩田康一様



節電等に協力いただきながら難局を乗り切って

最近の鉄鋼業界の状況は公共投資やエコカー補助金等の効果で、ゆるやかな回復基調にあるようです。ただ、復興需要はタイムラグもあるので需要回復を実感するには、もう少し時間がかかるかも知れませんが、今後に期待しております。

今後の電力需給問題がみなさんの一番気がかりかと思いますが、なるべく計画停電などは行わないよう、皆様方の協力を得ながらやっていきたいと思っております。鉄鋼業界全体では節電はもちろん供給面の両方でご協力をいただいております。感謝申し上げますとともに引き続きご協力をお願いする次第です。業界を取り巻く状況は厳しいですが、日本の鉄鋼業界はメーカー・流通・販売・加工業界という全体のサプライチェーンの力をもって、この難局を乗り切っていただきたいと思っております。政府としてもできる限りの支援を継続してまいりますので、ご要望等ございましたらお寄せください。

樋口克彦 副会長あいさつ

この1年が全特協の地固めの年に

これまで特殊鋼は、鉄鋼業界の中では韓国や中国などの新興国からの追い上げに一番遠いところにいると思っておりましたが、最近では有力日系企業の現地調達などに変化が起きています。日本の特殊鋼はどんなことをして生き残っていくのかを考えざるを得ません。それは、徹底的な価格競争なのか、あるいはどこにも負けないような品質や基準を追求、特殊鋼の応用や加工を進化させていくのか。そうした中で全特協の存在意義をどこに求めていくかというのが、これからの課題と感じています。一般社団法人になるまでの1年間は、その地固めの年であり、メーカーや商社という賛助会員の声もいただきながら、将来の特殊鋼業界のあるべき姿を見いだしていきたいと思っております。



佐久間貞介 副会長あいさつ

なくてはならない存在価値を發揮する団体に

本日から『竹内丸』が3度目の出航をします。今回が一番大変な船出だと思います。会員、賛助会員の皆様方が大変な変革を強いられている環境の中、全特協はどのように変化し、あるべき姿はなにか、ということの皆様方と相談させていただくことになると思います。いずれにしても、特殊鋼流通業の将来を担う若手のためにも会員企業にとっても、全特協を不可欠な存在にしなければならないと思っています。会員の皆様全員から少しずつでもお力をいただければ、どんな難局も乗り越えていけると考えています。どうか、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：6月27日(水) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」

出席者：68社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成24年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③東京支部役員選任(案)



副支部長兼総務部会長に鬼頭弘氏(取締役統括部長)、総務部会担当委員に高橋利豊氏(マクスコーポレーション・代表取締役社長)、人材育成部会副部会長に北信一氏(大洋商事・常務取締役)、広報部会担当委員に五箇一善氏(ゴカ・取締役社長)、調査研究部会副部会長に田嶋直氏(鐵鋼社・代表取締役社長)が新任された。

総会終了後の懇談会で湊義明支部長(野村鋼機・代表取締役社長)は「昨年は震災の影響でスタートから変更を余儀なくされた支部事業だったが、今年は賛助会員との交流会も予定通り開催。工場見学会のほか海外研修も検討に上がっている。より充実した運営のため、事務局および各部会長まで、ご要望をお寄せいただきたい」と呼びかけた。

続いてあいさつに立った竹内会長は「歴史的な円高で製造業の空洞化に拍車がかかり、輸入鋼材も増えている。特殊鋼流通にとって非常に厳しい状況だが、石油価格の下落やアメリカ経済の底打ちなどいい材料も出てきている。アメリカ経済の好転でドル高になり、円高基調の潮目も変わってくれば日本の製造業も強くなるのでは」と今後を期待を寄せた。

乾杯発声では三上顧問が「大変厳しい経済環境だが会長、支部長、役員の皆様方ががんばっていただき、会員のため有意義な事業を行っていただきたい」とエールを送り、和やかな雰囲気で行われた懇親会は宮地人材育成部会長の景気のよい三本締めで中締めとなった。



大阪支部 開催日時：6月20日(水) 開催場所：ヒルトン大阪

出席者：95社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度事業報告(案)・収支決算(案)
- ②大阪支部役員改選(案)
- ③平成24年度事業計画(案)・収支予算(案)



総会終了後の懇親会で福原實晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)は、「任意団体の大阪ステンレス流通協会は定時総会に113社中90社の出席がありました。出席率の違いは社団法人のわれわれとしては大きな反省点。『誰のため・何のため』の全特協かを考え、原点に立ち返る時期」と訴えた。来賓代表の栄山博之氏(山陽特殊製鋼・取締役大阪支店長)から「日本の特殊鋼は高い品質と研究開発力で優位性を確保し、まだまだ開える。流通も世界一」と祝辞をちょうだいした後は、樋口克彦・全特協副会長が「団体の生き残りのため、みんなで知恵を出し合おう」とあいさつして乾杯。佐々木洋運営委員の一本締めで散会となった。



名古屋支部 開催日時：6月19日(火) 開催場所：レセプションハウス名古屋通信会館

出席者：83社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成24年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ③名古屋支部役員選任(案)

佐橋健一郎総務部会長の司会で開催した第16回名古屋支部定時総会は、熊谷多津旺支部長のあいさつに続き議事に入り、各議題の報告と審議が行われ承認を受けた。その後、役員改選が行われ、新支部長に樋口芳氏(辰巳屋興業・取締役社長)を、新副支部長には杉本啓介氏(杉本ハガネ・代表取締役)、川北誠氏(川北特殊鋼・代表取締役)を選出。

樋口新支部長は「歴代支部長のこれまでの人づくりや思いを感じる。それを継承しながらお互いに支え合って運営ができるような組織にしたい。今回は若い副支部長も誕生したが、各副支部長は「次は自分が支部長に」と思って協力をお願いしたい。皆さんの力を借りないとうまく運営できないので、業界のため協力して欲しい」とあいさつ。総会後は台風の接近もあり映画上映の予定を中止し、懇親会を開催した。



東北支部 開催日時：6月28日(木) 開催場所：新鉛温泉・愛隣館

出席者：25社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度事業報告・平成23年度会計報告
- ②平成24年度事業計画(案)・平成24年度予算(案)
- ③東北支部役員改選

「震災後自粛傾向ではありましたが、今回東北支部の総会を迎えられたことを嬉しく思っております。皆様と共に、今日の総会、懇親会と、情報交換の場として、有益な時間を過ごして参りたいと思いますので、よろしく申し上げます。」との横山支部長のあいさつの後に総会に進んだ。全会一致で決議がなされ、森高臣新支部長(関東鋼鉄・代表取締役社長)の「復興の兆しが見えてきた東北ですが、まだまだ厳しい状況が続いています。東北支部の役員も若返り、今までいなかった若い意見も取り込んで、他の支部との連携を取って、これから盛り上げて行きたいと思います。」とのあいさつ後、菊田副支部長により閉会した。



北関東支部 開催日時：6月24日(日) 開催場所：りんどう湖口イタルホテル

出席者：28社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度事業報告・平成23年度会計報告
- ②平成24年度事業計画(案)・平成24年度予算(案)
- ③北関東支部役員改選

宮内保支部長、および桑原克己全特協専務理事のあいさつの後、総会では各議案が満場一致で決議された。役員改選では副支部長の長谷川弘和氏(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)を新支部長に選出。長谷川新支部長は、「全特協の各支部の中で、おそらく一番若い支部長となり恐縮している。次世代への継承、これからの若い人たちへ向けた魅力的な支部運営を念頭に置きながら、歴代支部長、役員の方々、会員諸兄の皆様方の助けがあつての支部でもある。ベテランから若手までつなぐのが支部長の役割と肝に銘じ、より多くの方に参加していただける運営を心がけたい」とあいさつ。総会閉会後は研修会として日本高周波鋼業・営業本部工具鋼営業部の油谷直彦課長より市況説明があり、その後、懇親会を開催した。



静岡支部 開催日時：6月27日(水) 静岡グランドホテル中島屋

出席者：17社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度活動報告・平成23年度決算報告
- ②平成24年度活動計画・平成24年度予算審議
- ③静岡支部役員人事(案)

冒頭、原博康支部長(東泉鋼機・代表取締役)のあいさつがあり、特殊鋼販売技士1級の開講について現行の販売技士の制度改革や将来の学習内容の増加変更の解説をし、本年度の受講生の増加を各支部会員に協力依頼した。議長は原支部長が選任され、議事は無事進行した。総会終了後、同所にて懇親会が開催された。原支部長のあいさつの後、来賓の泉淳二氏(大同特殊鋼株)、妹尾信夫氏(日立金属株)があいさつ、山浦康雄氏(株サンコー)の音頭で乾杯し、和やかに懇談の宴が催された。



九州支部 開催日時：6月8日(金) 開催場所：小倉リーセントホテル

出席者：16社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成23年度活動報告・平成23年度決算報告
- ②平成24年度活動計画・平成24年度予算審議
- ③九州支部役員人事(案)

岡田支部長の議事進行で各議案が満場一致で決議された。懇談会では、新支部長・吉永博氏(特殊鋼機・代表取締役社長)が「相互協力の元、九州支部を盛り上げていきましょう」とあいさつ、続いて大同特殊鋼福岡営業所・牧戸武彦所長の乾杯のあいさつで会は進み、懇親を深めた。



平成23年度 「特殊鋼販売加工技士(実務編)」資格認定式



全特協では平成24年5月17日(木)、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売加工技士(実務編)の資格認定式を開催した。今回、新たに認定された有資格者は83名で、基礎編と合わせた特殊鋼販売加工技士では3615名になり、特殊鋼販売技士と合わせた累計有資格者数は1万8518名となった。

認定式では、(株)平井の山本健太氏(東京支部)、大同興業(株)の寺田隆之氏(大阪支部)、川本鋼材(株)の川本哲也氏(名古屋支部)が、それぞれの支部を代表して竹内会長より資格認定証を授与され、野村機械(株)の中野翔氏が資格取得者を代表して答辞を述べた。

認定式終了後は、資格合格者を称えるための祝賀懇談会を開催。それぞれの会社から集まった合格者同士の懇親の場となるとともに、特殊鋼流通業界のため、より一層の研鑽と向上を誓い合う集いとなった。

会長あいさつ



(社)全日本特殊鋼流通協会
会長 竹内誠二

この研修制度は当協会の大きな事業のひとつで「責任と自覚と信用」を三本柱とし、健全な特殊鋼流通業界をつくるために1976年に特殊鋼販売技士制度が、さらにユーザーの多様で高度な加工ニーズに応えるために、1994年に特殊鋼販売加工技士制度が発足しました。この資格は取得が最終目的ではありません。資格を取ったことがスタートです。是非、この資格を有意義に活用して、ますます多様化するニーズと高度化する加工の技術・サービスに研鑽して、日本の産業の発展と同時に、国際社会にも大きく貢献されることを期待しています。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
塩田康一様

現在の日本の状況は非常に円高で、国内製造拠点の海外移転や輸入材の増加など鉄鋼業界全体で厳しい環境となっています。そうした海外への流れが加速する中でも日本の強みとは技術力であり、特に特殊鋼についてはニーズも非常に高度で海外メーカーではまねできないさまざまな独自のノウハウが詰まっている分野です。そうした意味で特殊鋼流通業界の皆様は、日本の経済を支えていく非常に重要な役割を担っています。本日の資格取得を契機に、メーカーと需要家の間に立ち、品質やデリバリーなどサービス面で多様化するニーズに対応しながら、業界発展に活躍されることを期待します。

答辞



資格取得者代表
野村鋼機(株) 中野翔

機械図面の読み方の基礎編から機械加工の実務研修まで延べ37時間受講しましたが実体験に基づいた講義をしていただいた先生、業務多忙の中講習会に快く送り出してくれた上司、同僚に感謝の気持ちでいっぱいです。特殊鋼業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増すことが予想されます。商取引の形態も年々お客様のニーズが多様化するなど激変の時代を勝ち抜くためには、受け身ではない提案型の営業が求められます。そのためにも高い知識を身に付け、付加価値を高めた商品、情報を正確に提供し、お客様に信頼される営業マンを目指していきます。

講評



検定試験委員会 委員長
湯野沢栄勝

仕事の後に大変な勉強をされて本日の資格取得に至ったわけですが、合格したことで終わりということではありません。今日がスタートラインだという思いをもち、振り返りとともに一歩先の技術・サービスを身に付ける新たな勉強に取り組んでください。そして、世界的にもすぐれた日本の特殊鋼の前進に貢献してください。

祝賀懇談会あいさつ



人材育成委員会委員長でもある佐久間貞介副会長(佐久間特殊鋼・取締役社長)は「現在、販売技士・加工技士とも皆様に少しでもお役に立つような制度になるように改革を行っております。さまざまなご意見をたまわりたいと思いますので、よろしく願います」とあいさつ。中締めでは宮地時夫人人材育成委員会副委員長(大同マテックス・代表取締役社長)が「人材育成委員会の諸改革の中で資格制度の応募条件も変わります。よりよい制度づくりのため会員の皆様にはご理解をたまわれれば幸いです」とあいさつした。

平成23年度「特殊鋼販売加工技士(実務編)」合格者名簿

平成23年度 特殊鋼販売加工技士(実務編)合格者数

支部名	受験者	合格者
東京	26	22
大阪	47	40
名古屋	23	21
合計	96	83

■成績優良者

中野 翔	野村鋼機(株)
寺田 隆之	大同興業(株)
森本 和意	住商特殊鋼(株)

平成23年度 特殊鋼販売加工技士(実務編) 合格者名簿

東京支部

齊藤 和希	浅井産業(株)
藤本 真吾	〃
馬場 祐亮	(株)U E X
勢 史紀	久野産業(株)
小池 陽介	大洋商事(株)
茂木 雅和	〃
渡邊 健一	〃
寺本 豊	辰巳屋興業(株)
小林 嘉郎	東海鋼鉄(株)
菊地 昇	中川特殊鋼(株)
曾我 知矢	〃
安藤 聡	日本高周波鋼業(株)
熊谷 成	野村鋼機(株)
中野 翔	〃
山田 歩	〃

諸澤 幸江	日立金属アドメット(株)
井坂 貴俊	(株)平井
石丸 徹	〃
福本 真司	〃
八木原大輔	〃
山本 健太	〃
大井 信	ヤマト特殊鋼(株)

大阪支部

金野 晃治	青山特殊鋼(株)
岡田 龍介	粟井鋼商事(株)
飯庭さおり	井上特殊鋼(株)
澤井希美代	〃
村越 直樹	ウメトク(株)
山根 大弥	〃
延澤 智	加藤鋼材(株)
小西 晃平	カネヒラ鉄鋼(株)
与那嶺 剛	小山鋼材(株)
中井 英雄	櫻井鋼鉄(株)
川瀬 浩平	サムテック(株)
眞田 誠	〃
岡本三枝子	三和特殊鋼(株)
西川 和彦	〃
宮崎 良太	〃
菊川 佳代	住商特殊鋼(株)
森上 有加	〃
森本 和意	〃
岡本明日香	清和鋼業(株)
寺田 隆之	大同興業(株)
廣田 浩佑	大洋商事(株)
朝比奈省吾	(株)天彦産業
廣岡 誉健	〃
萩野谷 聡	日本高周波鋼業(株)
安東 亮平	林田特殊鋼材(株)
寺地 亮	〃
松本 晃全	〃

近藤 祐輔	(株)阪神メタリックス
良知 真彦	〃
柴崎 剛文	日立金属(株)
大谷 智宏	日立金属工具鋼(株)
藤岡 健	〃
有留 健	古池鋼業(株)
中谷 建太	(株)堀田ハガネ
中村 誠一	〃
三原 学	〃
篠崎 一城	松井鋼材(株)
植原 裕	(株)メタルワン特殊鋼
松本 央胤	〃
村田 純平	陽鋼物産(株)

名古屋支部

竹内 淳	愛鋼(株)
荒谷 晃宏	〃
山本 隆司	石原鋼鉄(株)
上野 純資	ウメトク(株)
前田 哲	〃
安福 圭介	〃
山口 浩	〃
河野 陽	岡谷鋼機(株)
川本 哲也	川本鋼材(株)
山口遼太郎	〃
徳永 達哉	クマガイ特殊鋼(株)
浜島 慎介	(資)近藤ハガネ商店
奥 大輔	佐久間特殊鋼(株)
勝野聡一郎	〃
後藤 勇氣	〃
出口 大祐	〃
大石 啓嗣	サハシ特殊鋼(株)
木村 優	(株)三悦
川島 英俊	辰巳屋興業(株)
大石 怜亮	(株)山一ハガネ
高木 昭男	〃

■特殊鋼販売技士支部別有資格認定者

平成24年4月18日現在

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
1級	1,033	981	613	75	63	77	48	1	2,891
2級	1,735	1,604	1,082	104	138	129	100	60	4,952
3級	2,797	1,927	1,776	171	222	248	158	211	7,510
計	5,565	4,512	3,471	350	423	454	306	272	15,353

昭和51年(1976年)よりの累計数

■特殊鋼販売加工技士支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
実務編	245	219	135						599
基礎編	871	842	593	100	22	26	40	72	2,566
計	1,116	1,061	728	100	22	26	40	72	3,165

平成7年(1995年)よりの累計数

■特殊鋼販売技士・販売加工技士支部別有資格認定者累計表

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	合計
合計	6,681	5,573	4,199	450	445	480	346	344	18,518

「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月13日(金) 第8回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター 参加者数：92名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組
(女性はH.C.10ピン/1ゲーム)

[団体戦]

優勝 東京ハガネ(Aチーム) 1243ピン
準優勝 エスメタル(Aチーム) 1188ピン
3位 清水特殊鋼 1171ピン

[個人戦・男子]

優勝 白石 竜大(東京ハガネAチーム) 352ピン
準優勝 関 正一(藤田商事) 327ピン
3位 宇田川孝弘(エスメタル) 324ピン

[個人戦・女子]

優勝 石野奈央子(清水特殊鋼) 342ピン
準優勝 小山 紀子(大洋商事) 320ピン
3位 大溝 裕子(住友商事Bチーム) 294ピン



第8回となったボウリング大会は16社・23チームが参加。山田雅郎実行委員長、桐島文昭実行委員、片野宏事務局長による始球式で開幕。熱戦の末、東京ハガネ(Aチーム)が初優勝。ゲーム終了後は懇親会も行われ、会社の垣根を超えた交流が深められた。

大阪支部 4月21日(土) ファミリーコンサート〜どこかで聞いたクラシック〜 於：大阪市中央公会堂 入場者：約750名

昨年のサキタハダメ氏の公演に続き、2年連続でコンサートイベントを開催。開演前、福原大阪支部長が「今年は大阪大学交響楽団を招いてのクラシックコンサート。“どこかで聞いたクラシック”ということで耳慣れた楽曲を中心にフルオーケストラの壮大で深い音色をお楽しみください」とあいさつ。モーツァルトの「フィガロの結婚/序曲」を幕開きにビゼーのカルメンから「闘牛士の行進」、ドボルザークの「新世界より」、ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」などバラエティに富んだ曲目が披露され、盛況のうちに幕を閉じた。



名古屋支部 4月19日(木) ボウリング大会 於：名古屋市千種区 星ヶ丘ボウル 参加者：84名

[成績]2ゲームトータルピン数・3人1組(女性はH.C.あり)

[団体戦]

優勝 桜井興産(さくらチーム) 1070ピン
準優勝 愛鋼 1038ピン
3位 孟鋼鉄 925ピン

[個人戦 優勝]

男子の部 鶴海 和幸(愛鋼) 392ピン
女子の部 西野 芳子(桜井興産) 395ピン(H.C.40含む)

ゲーム終了後は懇親会を開催。あいさつに立った熊谷支部長は「4年ぶりのボウリング大会でしたが多くの方に参加いただき感謝しています。『はがねの日』記念行事なので、この機会にご家族、友人に特殊鋼の魅力を伝えてほしい」と述べた。その後は、特殊鋼に関する三択クイズが行われるなど、大いに盛り上がる中で会員交流が図られた。



北関東支部 4月24日(火) ボウリング大会 於：栃木県佐野市 両毛ゴールドレーン 参加者：66名

[成績]2ゲームトータルピン数(女性はH.C.あり)

優勝 阿部 聡(井上特殊鋼) 352ピン
準優勝 茂呂 暁(鐵鋼社) 336ピン
3位 下野 悟(小山鋼材) 333ピン

支部長あいさつの後、競技説明に続いて開催。ゲーム終了後は軽食をとりながら表彰式が行われた。参加者は毎年増え続け、前年56名に対し今年は66名。和気あいあいと活気にあふれた大会となった。



九州支部 4月15日(日) 清掃活動・プロ野球観戦 参加者：94名

恒例となった清掃ボランティアも今年で第8回目。全特協との提携強化を掲げた九州ステンレス流通協会も参加した。好天に恵まれた中、子供や家族も一緒になって福岡ドーム周辺を約1時間かけて清掃。ビニール袋23個分のゴミを回収した。その後は、食事バイキング付の野球観戦(ソフトバンク対ロッテ)を行い、会員各社の家族を含めて充実した1日となった。



最先端の技術と製品を
ユーザーのみなさまに——。

特殊鋼・高合金・新素材の販売

完成部品・加工品 特殊鋼熱処理製品 鑄鍛鋼製品
工業炉および設備 環境対応設備関連

半導体関連装置の設計・製造・販売
気体流量計の校正業務(JCSS認定事業者)



特殊鋼・高合金・半導体装置

株式会社 平井

<http://www.kk-hirai.co.jp>

本社: 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町二丁目17番9号

TEL.03-3667-7311(大代表) FAX.03-3667-7341~4

営業所: 所沢・北関東・名古屋・静岡 加工センター: 所沢・北関東
システム事業部(半導体関連) システム事業部技術研究所

含ニッケル鋼のスペシャリスト

まかせて良かった!の笑顔のために、価値ある鋼をお届けします。

ISO9001:2008 認証取得

SNCM ニッケルクロムモリブデン鋼(焼結鋼)	SNCM220H SNCM420H SNCM616 SNCM815	SNCM ニッケルクロムモリブデン鋼(強靱鋼)	SNCM439 SNCM447 SNCM630
SCM クロムモリブデン鋼	SCM415H SCM420H SCM435H SCM440H SCM435H	SNB 高合金用合金鋼ポルト材	SNB7 SNB16 SNB7 SNB7
SUS ステンレス鋼	SUS304 SUS304 SUS304 SUS304 SUS304 SUS316	SNC ニッケルクロム鋼	SNC415 SNC631 SNC815

在庫の確認・お問い合わせは、
HPまたはTELにてお気軽に!

株式会社 堀田ハガネ 大阪府堺市西区築港新町3丁目19-2
TEL.072-244-0011 / FAX.072-244-0330

TA/YO STEEL MATERIALS

大洋商事株式会社
<http://www.taiyoshoji.co.jp>
ISO 14001 認証取得

特殊鋼 鑄造品 鍛造品 加工 組立 電子材料
ITデバイス

本社 東京都中央区新富2丁目15番5号 (RBM築地ビル)
TEL.03-5566-5500

豊富な実績、ノウハウを生かして「設立つ提案」をします!!

品質向上 切削時間短縮 管理工数削減 在庫軽減

VE提案 品質向上 切削時間短縮 管理工数削減 在庫軽減

お客様

VE提案 品質向上 切削時間短縮 管理工数削減 在庫軽減

材料 製品設計から各種加工、完了まで対応いたします。

事業所案内

大阪支店	大阪府大阪市西区京町堀1-4-16	06-6444-8270
九州支店	福岡県北九州市八幡西区西曲里町2-1	093-644-7270
新潟営業所	新潟県新潟市北区新崎386-17	025-259-7181
名古屋営業所	愛知県岩倉市栄町2-21	0587-37-6110
浦安事務所	千葉県浦安市鉄鋼通り2-2-5	047-351-1523
長崎出張所	長崎県長崎市松が枝町3-9-101	095-832-2699
広島出張所	広島県福山市引野町5-42-17-201	084-943-2013

素材供給	各種加工・熱処理	品質・環境
特殊鋼 普通鋼 非鉄等	切断・切削・研磨 メッキ・熱処理 黒染・溶接等	ISO9001 ISO14001 認証取得

株式会社 岡谷特殊鋼センター

〒480-0124 愛知県丹羽郡大口町萩島1丁目111番地の1
TEL: 0587-95-2315 FAX: 0587-95-3596

良い素材から良い製品

■高級特殊鋼・精密鑄造品 ■エレクトロニクス関連部品
■磁性材料・電子材料 ■機械加工・金型熱処理

青山特殊鋼

東京本店 東北・新潟・太田・浦安
大阪支店 東大阪・兵庫 静岡支店 浜松・相模
中部営業 名古屋・豊橋・北陸

青年部会「第12回定時総会」を開催

部会長に久木田至氏を再任 「より一層連携を強め、お互いの強みを活かせる青年部会に」

平成24年6月15日(金)、青年部会は岐阜市の「鵜匠宿 すぎ山」会議室で部会員21名の参加を得て、第12回定時総会を開催した。

総会に先立ち、文化講演「鵜匠さんが語る鵜飼文化」が行われ、講師の長良鵜匠・杉山雅彦氏が鵜飼の歴史などを解説。織田信長が岐阜城に居を構えて以降、続く徳川幕府でも「鵜飼は川魚の中でも価値の高い鮎漁に特化してきたため、歴代権力者から手厚い保護を受けてきた。現在も長良鵜飼は宮内庁式部職鵜匠という職制になっている」など、その伝統価値を紹介。風折烏帽子に腰蓑、足半わらじという伝統装束を身に付け、鵜を伴って漁の一部を実演した。その上で、「長良鵜飼は岐阜城を頂く金華山と美しい清流がセットになった景勝の地で行われる。われわれは先祖代々この川辺で鮎を捕って生計を立ててきた。これからも雄大な自然を守り、人を育て、伝統漁法を次世代へ継承したい」と結んだ。



部会長として再任されあいさつする久木田氏

続いて行われた定時総会では、冒頭、久木田至部会長(櫻井鋼鐵・代表取締役社長)が、「欧州通貨危機、中国の景気の鈍化、そして歴史的な円高の



「鵜は鮎の急所を突き喉元に蓄えるので活き締め同様に鮮度が保たれる」と説明する杉山鵜匠

影響などで特殊鋼業界は厳しい年度を迎えている。自動車やベアリングなど頑張っている業界もあるが全体的には足踏み状態か」と景況感を述べ、「鵜匠さんの話にもあるように、特殊鋼業界も次世代につながる発展させなければいけない。われわれの年代が担っていかなければいけないので、より一層連携を強め、お互いの強みを活かせる青年部会にしていきたい」と抱負を語った。

総会では「平成23年度事業報告および収支報告」「平成24年度事業計画(案)および収支予算(案)」「平成24年度青年部会運営委員選任(案)」などの議事がそれぞれ審議・承認された。部会員については50歳到達による退会7名とともに新規加入会員4名が報告され、この結果、青年部会員数は50名となった。

【新規加入会員】

■東京支部

鴨山剛至氏(東海鋼鐵・取締役)

三上晃史氏(ノボル鋼鐵・常務取締役)

■名古屋支部

鷲野敦司氏(名古屋特殊鋼・経営企画



室長)

藤巻秀平氏(F&Cホールディングス・専務取締役)

運営委員については先の50歳到達者4名(桑原将敏氏・佐橋健一郎氏・出口弘親氏・木村貴俊氏)が退任となり、鴨山剛至氏、粟井邦英氏(粟井鋼商事・専務取締役)、松岳樹氏(トーキン・専務取締役)、松下浩司氏(中野ハガネ・代表取締役社長)の4名が新任された。引き続き、平成24年度運営委員により第21回運営委員会が開催され、平成24年度の部会長には久木田至氏を再任。新副部会長として山田雅郎氏(ヤマコー・代表取締役)が選任。顧問および特別顧問については、昨年度の11名が再任された。

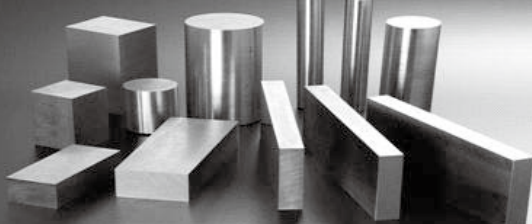
■平成24年度 青年部会 運営委員

役職	氏名	勤務先・役職名	役職	氏名	勤務先・役職名
部会長	久木田 至	櫻井鋼鐵(株) 代表取締役社長	鈴木 至典	(株)鈴木機械	代表取締役
副部会長	五味淵 努	五味淵鋼鐵(株) 代表取締役	森 晋吾	豫州短板産業(株)	代表取締役社長
副部会長	田嶋 直	(株)鐵鋼社 代表取締役社長	樋口 威彦	(株)天彦産業	取締役
副部会長	藤田 剛義	藤田商事(株) 専務取締役	保田 嘉嗣	保田特殊鋼(株)	代表取締役
副部会長	山田 雅郎	(株)ヤマコー 代表取締役	岩井 大昌	巴鋼鐵(株)	専務取締役
副部会長	櫻井 透	櫻井鋼鐵(株) 代表取締役副社長	林田 彰司	林田特殊鋼材(株)	代表取締役
副部会長	八木 栄治	(株)白銅 常務取締役	粟井 邦英	粟井鋼商事(株)	専務取締役
副部会長	古池 晃	古池鋼業(株) 代表取締役	石田 晶敬	石田特殊鋼(株)	取締役
副部会長	樋田 浩三	(株)三悅 代表取締役	永田 友康	永田鋼材(株)	代表取締役社長
副部会長	川北 誠	川北特殊鋼(株) 代表取締役	保田 憲秀	トクホウ精鋼(株)	取締役社長室長
副部会長	中島 伸夫	中島特殊鋼(株) 専務取締役	近藤 泰幸	(資)近藤ハガネ商店	代表
	福岡 敬司	(株)フコカ 代表取締役	澤津橋聖司	(株)司鋼商会	代表取締役
	鴨山 剛至	東海鋼鐵(株) 取締役	松岳 樹	(株)トーキン	専務取締役
	横山 大	(株)横山鋼業 代表取締役	松下 浩司	中野ハガネ(株)	代表取締役社長

特殊鋼のノボル鋼鉄(株)

熱処理、機械加工もノボル

S50C
NAK55
NAK80
その他



全事業所でISO9001、ISO14001 認証取得

東京 03(3835)2111、静岡 054(285)0161、仙台 022(241)4131

★ 大同の高級特殊鋼

冷間
ダイス鋼

DC53
DCMX

金型材のコンサルタント

株式会社 竹内ハガネ商行

本社 〒143-0023 東京都大田区山王2-3-10

☎03(3773)1211 <http://www.takenet.co.jp>

SC・SCM・SK 特殊鋼板・熔断加工販売



てんひこは「素材」×「熱処理技術」×「加工技術」のトータルプロデュースで貢献しています。



株式会社天産産業 (TENHIKO INDUSTRIAL CO., LTD)

本社 〒559-0032 大阪市住之江区南港南5丁目5-26

TEL (06) 6613-2351 FAX (06) 6613-2367

<http://www.tenhiko.co.jp>

上海天泰祥商貿有限公司 (中国・上海)

TEL 86-21-63812875 FAX 86-21-63812877

TENHIKO INDUSTRIAL (THAILAND) CO., LTD (タイ・バンコク)

TEL 66-2256-8348 FAX 66-2266-8349



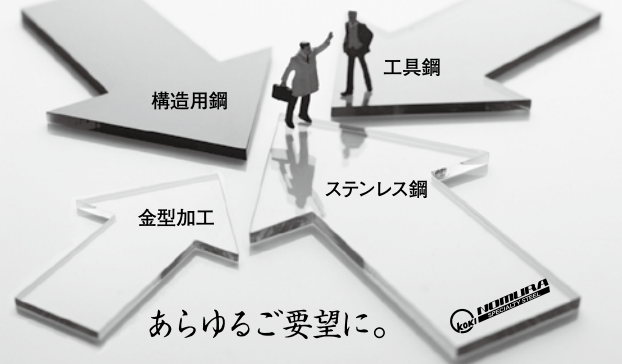
すべてはお客様のために

佐久間の心



佐久間特殊鋼株式会社 (052)623-5551
<http://www.sakuma-ssco.jp/>

<http://www.nomura-koki.com>



あらゆるご要望に。

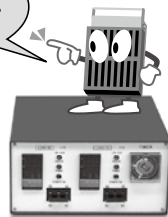
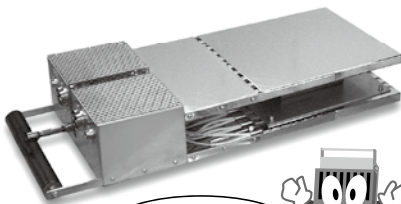
野村鋼機株式会社 東京都江東区亀戸 5-22-13 TEL 03-3682-2131 (代)

金型予熱装置

予熱くん

金型溶接補修の
予熱・後熱に最適!

金型を短時間で安全に予熱します!



焼パメもできるよ!



南海鋼材株式会社

<http://www.nankaikozai.co.jp>

TEL. 072-233-1525 (代)

車社会のあらゆるシーンで

- ステンレス鋼、構造用合金鋼、ばね鋼、その他特殊鋼
- 自動車補修部品・カー用品
- 精密機械部品・電子機器



辰巳屋興業株式会社

<http://www.tmy-net.co.jp>

本社: 〒466-8711

名古屋市昭和区白金3丁目20番15号

TEL: 052-882-8501 FAX: 052-882-8852

鋼材部営業所:

名古屋・大阪・三重・東京・燕



新・支部長訪問

名古屋支部

辰巳屋興業株式会社
取締役社長 樋 巳芳

業界を思う、諸先輩の 真摯な情熱にほだされ新支部長に就任



関西での営業基盤確立など

辰巳屋興業・鋼材部門の育ての親

この6月の支部総会で、退任された熊谷多津旺氏(クマガイ特殊鋼社長)の後を受けて支部長に就任した。1953年4月生まれの59歳。

辰巳屋興業の創業者・青木乙五郎氏は大叔父にあたる。乙五郎氏とともに会社の創業期をリードした、前会長の樋芳郎相談役の長男という出自だ。

「辰巳屋興業は1947年の創業ですが、高度成長の波に乗って会社もうまく回り始めた。人手の足りない時期でしたから、高校生のころから休日はアルバイトとして会社の手伝いをしていた」と当時を振り返る。

大学卒業後の1976年に辰巳屋興業入社。自動車部品販売を経験した後、1982年の大阪営業所開設に伴い、本格的に鋼材部門に取り組むことになった。

「昭和30年代は『バネの辰巳屋』と呼ばれ、バネ鋼を手広く扱ったものです。昭和40年ごろからは構造用鋼とステンレス鋼の2本立てに」

鋼材売上の主力拠点は大阪支店であり、開設から13年間在籍した。自動車部品、海外事業とあわせ辰巳屋興業の主要3部門である鋼材部門の、現在の業容を築き上げたのが樋社長なのである。

運営委員として豊富な経験を活かし 次世代継承を念頭に支部長に就任

長く大阪営業所長を務めてきた樋社長だったが、名古屋に戻ってきた1995年から全特協とかかわるようになった。

「これまで一貫して支部の運営委

員を務めてきました。これまでは、熊谷さんや佐久間さん(全特協・副会長)が主に本部の役員活動を担ってきましたが、そろそろ次世代へのつなぎの意味も含めて『支部長を経験しては』という後押しがありました」と、支部長就任の経緯を語る。

長く運営委員を務め、名古屋支部の活動に精通した樋社長が満を持しての登場となったわけだ。“その気”になった理由を次のように語る。

「熊谷さんや佐久間さんをはじめ、今まで名古屋支部を運営されてきた先輩方の熱心さに引き込まれました。ここまで情熱をもち真剣に、仲間や業界のために働かれる姿をみて、私も本気でお手伝いせねばということですよ」

昨年3月に社長に就任したばかりで多忙な樋社長。本業との兼ね合いで「皆さんに迷惑をかけることはないだろうか」という思いもよぎったというが、「人にすすめられるタイミングこそがベストな機会というもの」。そんな決断で支部長拝命を快諾した。

流通の新たな価値を探り、提案する ユーザーを守り、存在感ある団体に

支部長とともに本部理事にも就任。内外交流委員会の委員長も担当することになった樋社長。

「協会本部の仕事、他団体との会合の調整など未経験のことも多いので、これから勉強です」

ただ、名古屋支部は50代前半から半ばのスタッフに、元気があってアイデア

にあふれるメンバーがそろっているので心配はないという。

「今までは情報交換だけの場であつたけれども、これからはお互いの得意技を協力しあつてやっていく時代なのではないか」と全特協の存在意義について語る。

メーカーやユーザーに対する流通の存在意義も1社だけではアピールしにくくなっている現在、「横の連絡網でユーザーをカバーすることで流通の重要性を気づいていただけるはず。そうした狙いで関係構築することで、お互いの得意技でユーザーを守っていくようにしたらどうか」。樋支部長はそのように、全特協のみならず流通が担う役割の変化についても提案する。

いずれにしても、今後の業界のあり方を共に考えながら結束・協調していくという、これまでの関係を引き継いでいくのが役目と語る。

「熊谷さん、佐久間さん、そして親子2代で協会にご尽力されている田島さんなどがお手本。その情熱、真剣さを50代前半の仲間たちと守り続けていきたい」

そう、抱負を語る樋支部長である。



豊富な在庫と迅速な加工体制でジャストインタイム対応可能な三重事業所

新・支部長訪問

北関東支部

株式会社長谷川ハガネ店
代表取締役 長谷川 弘和



より若い世代から経験豊富な先輩方を つなぎ、魅力あふれる支部運営を

会員からの協力も最大限に依頼 全国最若年の支部長の決意とは

1969年1月生まれというから、まだ43歳。

「各地区の支部長さんの中ではもっとも年若のはずです」

この6月の支部総会で宮内保支部長(小山鋼材社長)の後を受けて新支部長となった長谷川社長は、そう恐縮する。「会員を引っばっていく力はあるのか?」。就任前にそう自問したが完璧であるはずがない。そう腹をくくったら、別の思いに至った。

「会員の皆様の助けを借りて幅広い世代をつなぐ。接着剤のような役割を演じる支部長になろう」

そんな思いで支部長に就任した長谷川社長に、今後の支部運営の抱負などをうかがってみた。

音公害の分野から特殊鋼の世界へ社長としての独自色にも意識

長谷川ハガネ店の2代目社長であり、支部長をはじめ全特協・北関東支部の要職を歴任した長谷川嘉宣氏(現会長)の次男として群馬県太田市に生まれ育った長谷川支部長。法政大学工学部卒業後は、騒音や振動の測定および分析を行う会社で音公害に関する調査・分析を担当する技術者として5年間勤務した。1995年に長谷川ハガネ店に入社し、2009年9月に社長に就任した。

長谷川ハガネ店は、構造用鋼からプラ金型用鋼まで幅広い鋼種と豊富な在庫で切断加工即納体制を築くほか、フライス加工や3次元などの図面付き加工、モールドベース加工のカスタマイズなど、多様な顧客ニ

ズに應える加工センターも完備。15年前からは韓国やタイとの取引を開始し、輸出入業務にも対応するなど多様な業務内容をもつ。

就任3年目を迎えた長谷川社長は、既存のサービスの質を高め、充実させながらも、3代目社長としての独自性あるビジネスを模索していかなければいけない時期だと思っている。

他地域への展開か、あるいは海外事業の充実か、または高収益化体制の構築か。

5年後か10年後か、社長のひとりとして社歴に残るトピックは記さねばならないと考えている。

NEWからOLDまで結集する 絆のような存在を目指したい

「第一に顔を合わせて親睦を図ること。支部運営の要は懇親にあり。そう自分は感じています」

支部事業の肝になる部分を、長谷川支部長はそう言い切る。

「北関東支部には賛助会員がいない。東京に本社を置く会社の出先である場合も多いですが、すべて正会員企業であるというのが特徴です」

そのため同じ立場で支部運営にあたるわけだが、担当者が企業オーナーであるかないかの違いはあり、協力を得ていく中で気はつかう。また、事業運営に対する考え方に温度差があるのも当然だ。

「だからこそその懇親です。オーナーばかりの運営でないからこそ、機会あるごとに顔を合わせ、意思疎通を図っていく。各種の情報収集からシビアな仕事上の問題まで円滑なものごとが進む確率が高まります」

若い支部長の誕生を機に、より若い世代に参加してもらえる支部事業を目指したいというが、「単純な若返り、世代交代を進めるつもりはありません」とキッパリ。

「私も含め、若い世代はいろいろ経験して学びながら、会員に必要とされることを楽しく実行していきたい。そのためには、経験豊富な先輩方が参加しにくくなるのはいけません」

自分よりもさらに先の若い世代を念頭におくからこそ、古い世代との結束力を強くする支部でありたい。そんな豊富と希望に燃える、新支部長の誕生である。



太田流通団地にテクニカルセンターも併設する長谷川ハガネ店本社



東日本大震災・復興支援企画

被災地と被災企業の今

東日本大震災では多くの会員企業が被災され、1年以上が経過した現在でも復興の途上にあります。今号でも前号に引き続き、被災企業の現状をリポート。業界の仲間として、今後も支援の気運を持ち続けたいと思います。



木村義男所長代理

第3回 (株) 鐵鋼社 東北営業所(宮城県岩沼市下野郷)

大津波警報に実感をもてめま帰宅

2011年3月11日14時46分の発災時は、5名の社員全員が営業所にいました。強く長い揺れが続く地震だったので、事務所から飛び出して揺れがおさまるのを待ちました。その間、地面に亀裂が入り、液状化による地下水の噴出がありました。直後より、水道、電気、通信もストップしたので仕事にならず、家族のことも心配なので15時過ぎから順次、社員を帰しはじめました。大津波警報は発令されていましたが当初は半信半疑。「6mとか10mとかの津波なんてあるのかな」というのが全員の感想でした。

迅速避難で津波等による人的被害なし

倉庫内の陥没や事務所のドア周りのゆがみなど、被害の初期確認をしたところで私も15時30分ごろには退社。帰宅途中に車のテレビをつけたところ、仙台空港が津波の被害を受けているとの情報を得て、「これは未曾有の災害になっているのかも」ということを知りました。それでも当営業所は海岸線から最短でも2.5kmあるので、まさか津波が到達するとは思っていませんでした。このように、営業所が津波の被害を受けたときには社員全員が避難・帰宅しており、誰もいない状況でした。家族も含めて人的被害がなかったのは、なによりも幸いでした。

津波による1mの浸水で各設備に被害

翌12日以降から営業所の被害状況を

確認しはじめました。まず、事務所、倉庫とも約1mの浸水があり、工作機械、トラックやフォークリフトのエンジン周り、エアコン室外機等の電機関連が海水と汚泥にまみれました。特に痛手だったのが約300トンの在庫です。ほぼすべての鋼材が水没したので汚れとともに錆が発生し、5月ごろまではなんとか再生できないかと工夫してみましたが、最終的にはすべて入れ替えを行いました。また、倉庫内の床面陥没は現在も跡が残っている状態です。その他、津波の漂流物による建物の損壊がありました。天井クレーンの稼働にも問題がなかったことから建物に大きなゆがみなどの被害はなかったようです。

温かい支援をたまわった関係各位に感謝

実は当営業所は鐵鋼社初の東北拠点として発災直前の1月から本格的に営業を開始。建物も前年の12月20日に引き渡しを受けたばかりのものでした。「さあ、これから」というときの被災でしたので、大きく出鼻をくじかれた感がありました。しかし、3月最終週に本社および各拠点からグループ社員が交代で営業所の片づけや清掃に駆けつけてくれたことで、採用したばかりの当営業所スタッフの団結力もアップ。全社的な一体感も得られました。また、被災後1週間が経つころは食料もガソリンも欠乏状態でした。そのタ

イミングで田嶋社長と本社の本部長が2人で車を運転し、食料やガソリン、カセットコンロ用ガスなど緊急物資を届けていただいたことは、感動的で忘れられない思い出です。

新規拠点であった東北営業所が本来の稼働状況になったのは、発災後2か月経った5月連休明けからです。この間、全社的な応援をはじめ取引関係先の皆様にも多数のお見舞いをいただき勇気づけられました。

深刻な被害を受けられた他社様からみれば、当営業所は人も建物も設備も残り、早期に営業再開できた方だと思います。いま現在、仕事ができるよこびを社員一同噛みしめております。関係各位には改めまして御礼を申し上げますとともに、今後の復興需要でわれわれの在庫が必要になれば、迅速に供給できる体制を回復しております。お客様の倉庫がわりに鐵鋼社・東北営業所をご利用いただければ幸いです。



おおむね水が引いた3月23日の倉庫内状況。建材用途もあることから海水につかった鋼材の再生はあきらめ、約300トンを入れ替えた。

理事会・委員会報告

■連絡会

○第17回経済産業省との連絡会

日時：平成24年3月27日 13:30～14:30 於：鉄鋼会館 特殊鋼倶楽部会議室
内容：1. 鉄鋼業界を巡る状況等について
2. 全特協 地域別(各支部)の現況と市況説明

■理事会

○第39回理事会

日時：平成24年3月27日 14:45～15:45 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案

- 第1号議案 平成24年度事業計画書(案)及び同年度収支予算書(案)の件
第2号議案 理事候補者等の提案の件
第3号議案 会員の入会(案)の件
その他 公益目的支出計画(案)の件、広報誌「すていーる」への広告掲載料金の件
2. 報告事項：会員の退会の件、委員会報告、事務局報告

○第40回理事会

日時：平成24年5月17日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告書(案)及び同年度収支決算書(案)の件
第2号議案 平成24年度収支予算書(案)の件
第3号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う定款の変更(案)
第4号議案 一般社団法人への移行認可申請に伴う公益目的支出計画(案)の件
第5号議案 委員会に関する諸手当支給内規の改正(案)の件
第6号議案 常勤理事の報酬(案)の件
第7号議案 新理事・監事選任(案)及び委員会の委員候補者(案)の件
第8号議案 顧問推薦(案)の件

■運営委員会

○第63回運営委員会

日時：平成24年3月27日 11:30～13:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 審議事項：(第39回理事会・議案に同じ)
2. 報告事項：(第39回理事会・議案に同じ)

○第64回運営委員会

日時：平成24年5月17日 00:00～00:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案(第40回理事会・議案に同じ)

■総務委員会

○第46回総務委員会

日時：平成24年5月15日 00:00～00:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案(第40回理事会・議案に同じ)

■人材育成委員会

○第41回人材育成委員会

日時：平成24年4月25日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 平成23年度特殊鋼販売加工技士実務編検定試験結果及び資格認定式開催について
2. 平成24年度事業計画案及び予算案の考え方について
3. 特殊鋼販売技士、販売加工技士の制度改革について

○第42回人材育成委員会

日時：平成24年6月25日 15:00～17:00 於：名古屋・安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士「入門編」研修講座について
2. 指導要領作成WG活動中間報告について
3. 特殊鋼販売技士、販売加工技士の制度改革について
4. 加工技士研修講座の「基礎編」に使用のテキスト変更について

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○第9回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成24年3月13日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士3級「指導要領」の講師の意見集約
2. 特殊鋼販売技士2級「指導要領」作成
3. 研修講座講師のメーカーバランスの是正、講師派遣要請の手続等の検討
4. 4月開催の「入門編」資料について

○3級講師事前打合せ

日時：平成24年4月19日 15:00～16:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成24年度3級研修講座の講師事前打合せ
2. 特殊鋼販売技士研修制度の変更点説明

○第10回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成24年5月22日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 4月開催の「入門編」アンケートについて
2. 2級、1級指導要領作成スケジュールの見直しについて
3. 研修講座講師のメーカーバランスの是正、講師派遣要請の手続等の検討
4. 特殊鋼販売技士2級「指導要領」作成

○3級問題選定会議

日時：平成24年6月6日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について

○第11回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成24年7月17日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. ワーキンググループ活動の中間報告について
2. 特殊鋼販売技士2級「指導要領」作成について

【特殊鋼販売加工技士検定試験委員会】

○合否判定会議

日時：平成24年4月18日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売加工技士「実務編」合否判定
2. 講師講評
3. 検定試験委員長総評
4. 人材育成委員長講評

○資格認定式

日時：平成24年5月17日 17:00～17:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 経済産業省製造産業局：塩田鉄鋼課長御あいさつ
2. 特殊鋼販売加工技士資格認定証授与

■調査研究委員会

○第46回調査研究委員会

日時：平成24年3月6日 12:00～15:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 第60回(10-12月)景況アンケート調査報告
2. 第61回(1-3月)景況アンケートの設問について
3. 第10回経営環境等に関するアンケート結果報告について
4. 平成24年度事業計画(案)及び予算(案)について

○第47回調査研究委員会

日時：平成24年6月26日 15:00～17:30 於：大阪鉄鋼会館
内容：1. 第61回(1-3月)景況アンケート調査報告
2. 第62回(4-6月)景況アンケートの設問について
3. 特別調査アンケートについて

■広報委員会

○第29回広報委員会

日時：平成24年7月4日 15:00～17:00 於：東京・鉄鋼会館
内容：1. 広報誌「すていーる47号」の記事配置等について
2. 平成24年度事業計画及び予算について

■青年部会

○第20回青年部会運営委員会

日時：平成24年3月23日 16:00～17:00 於：東武レバントホテル
内容：1. 平成24年度事業計画(案)及び予算(案)について
2. 第12回青年部会総会について

○第33回青年部会正副部会長会議

日時：平成24年5月8日 15:30～17:00 於：安保ホール
内容：1. 第12回定時総会の内容について
2. 青年部会の今後のスケジュールについて

○第12回青年部会定時総会及び講演会

日時：平成24年6月15日 15:00～16:45 於：岐阜・鶴匠宿「すぎ山」
内容：1. 議案
第1号議案 平成23年度事業報告及び収支報告承認の件
第2号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件
2. 講演会：「鶴匠による鶴飼のはなし」杉山雅彦氏

事務局だより

1 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

当協会の担当でありました塩田康一鉄鋼課長が、平成24年6月15日付で、中国経済産業局総務企画部長にご栄転となりました。後任は、山下隆一氏(前資源エネルギー庁参事官)。

塩田課長様には平成23年7月15日より、当協会の運営等についてご指導をいただきました。大変お世話になりありがとうございました。新天地でのご活躍を祈念しております。

2 今号より広告掲載を始めました。

本誌「すていーる」は、平成9年3月に創刊以来今回の平成24年7月号で「47号」を数えるに至り、会員の皆様から大変なご支持、ご支援を頂きありがとうございます。

今号より、正会員の皆様に有料広告(1口5万円)の掲載をお願いさせていただくことになりました。早速応募していただきました会員各位、大変感謝申し上げます。

なお、次号「すていーる48号」の広告掲載申込み方法等につきましては10月上旬に改めて事務局よりご案内させていただきますので宜しくご協力の程お願い申し上げます。

3 「法律無料相談窓口」(何でも相談窓口)を気楽にご利用下さい(経営効率化委員会)

当協会の理事である飯田理事の飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員の皆様に「法律無料相談窓口」を開設しております。皆様の身近な諸問題についても無料で受けられます。

一般社員の皆様のプライベートな問題も相談可能です。

・飯田法律事務所：Tel 03-3666-3838(窓口：高橋氏) ・電話でのご相談は無料です。

①全特協「法律無料相談窓口」を利用したい旨をお伝え下さい。②「全特協の所属支部と会社名」をお伝え下さい。

③相談内容を簡単にまとめてお伝え下さい。④弁護士の先生と直接具体的な相談を始めてください。

・現在お住まいの地区の弁護士事務所の紹介も可能。 ・相談内容は守秘義務があり、いずれにも報告されません。

4 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を継続しております。是非ご利用下さい。お問い合わせは、事務局までお電話下さい。(Tel：03-3669-5803)

編集後記

今号が皆さんのお手元に届く頃は夏本番になっています。節電！節電と国を挙げて叫んでいますが、その割には緊迫感も緊張感も伝わらないのは私だけでしょうか？

大飯原発も再稼働反対が圧倒的に多い中、あっけなくフル稼働しています。

私は原発依存率のもっとも高い大阪に住んでいますが、原発全面停止の今年の夏も全く計画停電は実施されません

でした。

大飯原発が稼働している今年の夏も節電を大声で呼びかけている政府の言葉が素直に耳に入らないのは私だけでしょうか？

現実には思惑には敵わないという暑い夏です。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／福原實晴